

第六十四回
帝國議會
貴族院

六大都市ニ特別市制實施ニ關スル法律案特別委員會會議事速記録第四號

昭和八年三月二十三日(木曜日)午後一時
十九分開會

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデハ是

カラ開會イタシマス

○子爵大河内輝耕君 昨日司法大臣カラ少年教護法ノ同意スベカラザル點ニ付キマシ

テ色ニ御示シテ蒙ラタノデスガ、尙ホ其點ヲ能ク見テ見マスルト、此條文ノ一條八條九

條四條六條ト云フヤウナ點ニ關シテ居ルヤウニ存ジマス、ソレデ仔細ニ其點ヲ研究シ

テ見マスルト云フト、其方ダケ修正スルコトハ大シテムヅカシイコトデモナイヤウニ

思ハレマス、就テハ其修正サヘスレバ此法案ハスツカリ通シテモ宜イヤウニ思ハレマ

スノデスガ、其點ハ如何デゴザイマセウカ、問題ハ大分具體的ニ當リマスカラ、或ハ政

府委員カラ御説明下サツテモ何方デモ宜シウゴザイマスガ、其點ヲ一應御意見ヲ承知

シタイ

○國務大臣(小山松吉君) 昨日モ申上ガマシタガ、此少年教護法案ハ、第一ニ感化法

ノ精神トスル所ト違タリ方ラシヤウト云フコトガ私共ガ同意ヲ致シ兼ネル理由ノ

一ツデアリマシテ、其次ニ各條項ノ中デ完

全デナイト云フモノヲ指摘シテ申上ガタノデアリマスガ、只今ノ大河内子爵ノ御尋ノ

ヤウニ、昨日私ガ指摘イタシマシタ條文ヲ修正シタナラバ同意スルカト云フ御趣意ノ

ヤウデアリマシタガ、實ハ此少年教護法案ト云フモノハ斯ウ云フ立前ノ下ニ立法イタ

シマスルコトハ少シ考ヘテ見ナケレバナラヌ事情ガアルノデアリマス、ソレヲ一ツ申

上ゲマス、只今法制審議會……是ハ臨時法制審議會ノ時代カラデアリマスガ、臨時

法制審議會ニ於テ政府ノ諮問ニ依ッテ我國ノ醇風美俗ニ基イテ法律ヲ改正スルト云フ

趣旨ノ下ニ、民法ノ親族法ト相續法ト改正ヲスルコトニナリマシテ、臨時法律審議會

ハ其要綱ヲ議決イタシマシテ、サウシテ今民法改正ノ調査委員會ニ於テ立案ラシテ居

ルノデアリマス、デ其立案條文モ略、出來テ居リマスガ、ソレニ依リマスト、民法ノ

親族編ガ可ナリ條文ガ變更サレマス、現ニ昨日申上ガマシタ民法八百八十二條ノ如キ

モ今度ハ改正サレコトニナッテ居リマス、ソレカラモウ一ツ、御承知デアリマセウ

ガ、家事審判所ト云フモノモ制定スルコトニナッテ居リマス、是モ臨時法律審議會ニ於

テ議決サレマシテ、今家事審判法案モ略、出來テ居リマス、ソレデチョット御參考ニ申

上ゲマス、民法ノ今ノ八百八十二條ニ當ル所ハ親權ヲ行フ父又ハ母ハ必要ナル範圍

内ニ於テ自ラ其子ヲ懲戒シ又ハ家事審判所ノ許可ヲ得テ之ヲ感化院矯正正院其ノ他之ニ

準ズル施設ニ入ルルコトヲ得」ト云フコトニナリ、親權其他ニ付テモ大分新タニナッテ

居ルヤウデアリマス、家事審判法モ之ニ準ズベキ規定ガアルノデアリマシテ、是ハ遠

カラズ議會ノ協賛ヲ經テ法律トナルベキモノダト思ッテ居リマス、一方ニ於テ斯ウ云フ

風ニ法律ノ制定ノ完備スルコトガ近付イテ居ルノデアリマスカラ、現行ノ感化法ガ完

全デナイトコトハ是ハ司法當局モ認メテ居ルノデアリマス、感化法ハ御承知ノ通り明治

三十三年ノ制定デアリマシテ、其後一二改正イタシマシタケレドモ、今日ノ時勢ニ適

應スベキ法律デナイノデアリマスカラ、感化法ヲ改正シナケレバナラヌト云フコトハ

政府モ認メテ居ル次第デアリマスガ、少年教護法ノヤウナモノヲ作ルトスルナラバ今

度制定セラルベキ民法家事審判所法其他之ニ關係スル幾多ノ法令ヲ研究イタシマシテ、

サウシテ慎重ニ審議シタ上デ立案スル必要ガアルト思フノデアリマス、ソレデ只今大河内子爵ノ御尋ノヤウニ此條項ヲ修正シ

タナラバ此案ニ同意スルカト云フ御尋ニ對シテハ、只今御答ヲ致シ兼ネルノデアリマ

ス、モット進ミマシテ此條文ヲ斯ウスル、此條文ヲ斯ウスルト云フコトニナリマシテモ、

私トシマシテハ他ノ閣僚トモ相談ヲ致シマセスト、チョット此案ニ御同意スルト云フコ

トハチョット申上ガ兼ネルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマス、此親族法中家事審判所制度、サウ云フモノガ

色ニ御改正ニナル迄此改正ハ止メテ置クダト云フコトニナレバ、立法ノ必要カラシ

テ實際ノ改正ハ出來ナクナルノデ、誠ニ事業ノ爲ニ遺憾ノヤウニ思ヒマスガ、私モ能ク

素人デ存ジマセヌガ、親族法ノ改正ト云フヤウナコトハ容易ナコトデナイノデ、何時

出來ルカ殆ド見當ガ付カナイト思フ、又出來テ見タ所デ是ガモノニナルコトハ容易ナ

コトデナカラウト思ヒマス、サウ云フモノニ是ガ御付合ヒシテ居ッタラ何時迄經ッテモ

出來ナイト思ヒマス、是ハ此儘ニシテ置イテサウシテ親族法中家事審判所ノ方ガ決マ

昭和八年三月二十三日

レバ、從テ是モ修正サレレバ宜カラウカ
ト思ヒマスガ、其點如何デゴザイマスカ

ヤウニモ思ハレマセヌ、大體ドンナ工合ニ
ナテ居リマスカ

成ルベクナラバ條文ヲ指摘シテ御述ベヲ願
ヒタイノデアリマス

分始末ヲシテ戴ケルヤウニ、又情狀ノ輕キ
モノハ感化法ノ系統デ教育的ニ、教化的ニ

○國務大臣(小山松吉君) 兎ニ角民法及家

○國務大臣(小山松吉君) 只今案ハ條文ノ

○政府委員(丹羽七郎君) 內務省ト致シマ

之ヲ處置シテ行ク、今日デハ少年法ノ制定

事審判所法等ニ於テ或意向ガ……斯ウ云フ
條文ニ依テ斯ウ云フ施設ヲスルト云フコ

形デ案ハ出來テ居ルノデアリマス、詰リ私
ノ申上ゲルノハ、サウ云フ風ニ少年ノ懲戒

シテ、此法案ハ大體前々同ニ申上ゲマシタ
ヤウニ、社會事業調査會ニ於テ定メラレマ

ガ普及イタシマセヌ關係上、可ナリ情狀ノ
重イ者マデ感化院ガ引受ケテ居ルト云フヤ

トガ決マテ居ルノデアリマスカラ、サウ云
フ點ニ對シテハ矢張り考慮スル必要ガアル

ニ關スルコト、感化法ノ命ズルヤウナ規定
ノ變更ガ、民法ノ規定ノ變更ガアルコトガ

シタル感化法ノ改正要綱ニ準據シテ制定セ
ラレマシタノデ、感化法改正上必要ナル事

ウナ狀況ニアリマスガ、是等ハ兩々相俟チ
マシテ、類別的ノ處置ノ出來ルヤウニ早ク

ト思フ、私ハ決シテ民法ガ完全ナ法律ニナ
ル迄待タナケレバナラスト云フ趣意デ申上

分テ居ルノデアリマスカラ、此感化法ノ改
正案デアル教護法案モソシナニ急イデ、私

デアリマス、而モ申上ゲマス迄モナイコト
デアリマスルガ、今日此不良ナル子供ト云

致シタイト思フノデアリマスルガ、其類別
的ノ處置ヲ致シマスルコトガ必要デアルト

ガタノデハナイノデアリマス、サウ云フ一
方ニ於テ新タニ制定セラレル法規ノアルコ

共カラ申セバ不完全ダト思フノデスガ、之
ヲ是非トモ法案ニシナケレバナラスト云フ

フモノハ非常ニ多數存在イタシテ居ルノデ
アリマシテ、之ヲ處置イタシマスルニ付キ

場合ニハ感化院以外ニ、院外ノ收容モ之ヲ
必要トスルモノデアリマス、又此處ニアル

トヲ少シモ眼中ニ置イテナイヤウナ風デア
リマスガ、民法ナリ家事審判所法ナリ、又

必要ハナイト思フテ居リマス、モウ少シ適當
ニ委員ノ間ニ於テモ練リ上ゲマシテ、サウ

マシテハ、其情狀ノ重キモノハ之ヲ懲戒的
ニ處置ヲスルト云フコトモ必要デアリマス

案ニアリマスル少年教護院ノ委員ノ如キモ
ノモ必要デハアルノデアリマス、要スルニ

其他ノ法規ヲ能ク調査イタシマシテ、慎重
ニ研究シテ感化法ノ改正ト云フコトヲスル

シテ完全ナモノニスルト云フコトガ必要ダ
ト思フテ居リマス

ル、併シ年齡ガ低ク、又情狀ノ輕キモノニ
對シマシテハ教育的、教化的處置ヲ執リマ

現狀ニ基キマシテ、不良少年ノ現在ノ狀況
ニ基キマシテ適當ナル處置ヲ講ズルコトガ

ノガ適當ダ、斯ウ云フ趣意デ申上ゲタ
○子爵大河内輝耕君 如何ニモ其教護法ノ

ナイノデ內務省ノ政府委員ニ伺ヒマスガ、
內務省ハ頻ニ之ヲ御急ギノヤウデ、今司法

シテ、之ヲ處置スルト云フコトガ必要デア
ル、詰リ懲戒的及教育的ノ兩方ノ立場カラ

早イホド宜シイ、斯ウ云フ考ヲ持テ居ル
ノデアリマス、條項ニ付テ指摘シロト云フ

必要ヲ認メ、又感化院法ノ不備ナ點ヲ認メ
テ之ヲ改正シヤウト云フモノカラ見ルト云

大臣カラノ御話デアルト、是ハソシナニ急
ガナイデモ宜イノデハナイカト云フ御話デ

適當ナル處置ヲ不良ナル少年ノ爲ニ執テ
行クコトガ必要デアラウト考ヘテ居リマ

御話デアリマシタガ、例ヘバ感化法ノ改正
要綱トシテ、社會事業調査會ニ於テ決メテ

フト、ソレ迄待テト仰シヤルノハ隨分容易
ナコトデナイヤウニ思フノデスガ、併シ大

スガ、內務省ハ之ヲ急ガレル理由ハ何處ニ
アルノデアリマセウカ、不完全ナモノ

ス、從ヒマシテ其一部分ハ司法省ノ管轄ニ
屬スル事柄デアリマスルガ我々ガ不良ナル

居リマスル此本案ノ六條ニアリマス少年教
護委員ノ如キモ、又第八條ノ第二項ニ規定

臣ノ御話ノヤウニ是ガ法律ニ必ズシモノナ
ライデモ宜イ、目鼻ガ付キサヘスレバ其時

デアルカラ一日モ早ク直スガ宜イト云フ
ダケノコトデアリマスカ、ソレトモ此條項

兒童ノ今日ノ狀況ヲ見マシテ希望シテ居リ
マスルコトハ、要スルニ司法省ノ少年法ニ

イタシマシタル院外ノ處置ト云フヤウナコ
トガ出來ルヤウニナルコトガ必要ナ事柄デ

アレバ、サウ云フモノノ審議ノ進行ノ狀態ハ
ドンナ風ニナテ居リマセウカ、急ニ決マル

ガ斯ウダ、此條項ガ斯ウダト、今差措クベ
カラザル具體的ノ理由ハ何處ニアルノカ、

基ク所ノ各種ノ施設ガ段々擴張イタサレ
テ、サウシテ情狀ノ重キモノハソチラデ十

アルト考ヘテ居リマス、其外段々ゴザイマ
スルガ、先ヅ左様ニ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ司法省ニ對シテノ御問ヒガ重複スルカモ知レマセヌノデ誠ニ恐縮デゴザイマスガ、今一應伺ヒタイノデアリマス、只今内務省ノ政府委員カラ指摘サレマシタ此六條ノ教護委員ト、ソレカラ第八條二項ノ「適當ナル施設若ハ家庭ニ委託シ又ハ少年教護委員ノ監督ニ付スルコトヲ得」之ニ對スル御意見ハ如何デアリマセウカ、是ハ一時問題ガ出タカモ知レマセヌガ、誠ニ恐縮ニハ存ジマスガ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(小山松吉君) 御答イタシマスガ、此少年教護委員ト云フモノガドウ云フ仕事ヲスルノデアリマスカ、「勅令ノ定ムル所ニ依リ」トアリマシテ、其案ヲマダ拜見シマセヌカラ分リマセヌガ、此後ノ第八條ノ第二項ノ「監督ニ付スルコトヲ得」トアリマスカラ、少年ニ對スル監督ヲスル是ハ人ダト思ハレルノデアリマス、所ガ此監督ト云フノハドウ云フコトヲスルノデアリマスカ、此第八條ノ一號ニ依リマスト親權又ハ後見ヲ行フモノナイモノガ少年教護院ニ入院セシメラレルノデアリマスガ、之ニ「前項ノ處分ノ外」トアリマスカラ、斯ウ云フ親權又ハ後見ヲ行フモノナイ少年ニ對シ

テ少年教護委員ガ監督スルト云フト、ドウモ親權ヲ行フヤウナコトニナルヤウニ思ハレルノデアリマス、監督ト云フコトハ廣ク考ヘマスルト、ナンカ或ハ一種ノ懲戒行爲モ出來ルノデハナイカトモ思ハレマス、之ニ對シテハ司法省トシテハ疑ヒヲ持テ居ルノデアリマス、ノミナラズ是ガ一體感化院ノ院長ガ在院者及ビ假退院者ニ對シテノミ親權ヲ行フト云フ原則カラ申シマスルト、是ハ擴張シテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フコトハシテ宜イノカドウカ、宜イトスレバモウ少シ少年教護委員ノ少年ニ對スル權限ヲ明瞭ニシナケレバ、是ハ問題ガ起リマス、感化法制定當時ノ少年ト違フテ、今日ノ少年ハ色々ムヅカシイ問題ヲ提出スルモノガ多イノデアリマス、ソレカラ此監督者ニ對シテ少年側ニ立テ色々ナ策動スルモノモ是ハナイトハ限リマセヌ、サウ云フ事端ノ發生スル虞レノアル規定ハ餘程綿密ニ分リ易ク、誰ガ見テモ疑ヒガナイヤウニシナケレバナラスト思ヒマス、此案デハ其點ハ解釋上幾多ノ疑問ガアルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ司法省ノ提案デモナシ政府ノ提案デモナイノデアリマスカラ、サウ云フコトヲ司法大臣ニ伺フノハ穩當デナイコトハモウ重々承知イタシテ居リマスケレドモ、御差支ガナケレバ御答ヲ願ヘレバソレデ宜イノデアリマスガ、サウ致シマススト此教護委員ノ權限ヲ明カニセヨト仰シヤルノハ、ドウ云フ風ニ之ヲ明カニシタラ宜シイノデゴザイマスガ、斯ウ云フ風ニ明カニシタラ宜イト云フヤウナ御案ハ御持チデゴザイマセウカ如何デゴザイマセウカ

○國務大臣(小山松吉君) ドウモ案ハ實ハ持テ居リマセヌ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ナカッタモノデアリマスカラ……御尋ネデスカラ、確定的ニ申上ゲラレマセヌガ、少年教護委員ガ少年ニ對シテ或程度ノ保護ヲスルト云フヤウナ意味ナラバ、是ハ問題ハ起ルマイト思ヒマスガ、監督ニ付スルト云フヤウナコトハ非常ナ疑問ノ生ズル餘地ハアルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマススト、監督ト云フコトヲ保護ト云フヤウナ意味ニ變ヘレバ、宜シイト申上ゲテハ惡ウゴザイマスガ、根本ニ御反對ナンドカラ宜シイト云フ御答ハ取レマセヌガ、先ヅハ一步ハ進メ得タモノダト斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シウゴザイマスガ

長官ガ云々ト云フ條文ガドウ云フ風ニナリマセウカ、第一項ヲ承ケテ來タ第二項ノ條文ガドウ云フ意味ニナリマスガ、其處ヲ私共又疑フノデアリマス、繰返シテ申上ゲマスガ、ドウモ文字ヲ私モ色々考ヘテ見マシテ、決シテ特ニ反對スルノデハナイノデスガ、昔感化法ニ付テハ多少研究シタコトガアリマスカラ色々考ヘテ見マシタケレドモ、ドウモ少シ位文字ヲ取替ヘテ見テモ疑問ガソレカラソレヘト出ルヤウニ私ハ考ヘマス

○子爵大河内輝耕君 民法上ノコトデアリマシテ、行政ト違ヒマスカラ權限ヲ明ラカニ一二ト書ケト言ッテモソレハ言フ方ガ無理カモ知レマセヌケレドモ、何カソナ風ナコトデモ司法省デ御氣附ノコトガゴザイマスマイカ

○國務大臣(小山松吉君) 何モ氣附イテ居ラスヤウデスガ

○子爵大河内輝耕君 内務省ノ方ニ伺ヒマスガ、是ハ伺ヒ違ヒデアレバ取消シマスガ、只今司法省ノ方カラ伺フト此條文ガ大分疑ハシイモノガ多イ、ソレデ無論サウスレバ同意スルトハ言ハレナイケレドモ、玆ニ此教護委員ノ權限ヲ明ニスレバ幾ラカ惡イ中ニモ宜クナッタモノダト云フヤウナ風ノ御説明ニマア承知シタノデスガ、如何

デセウカ、此監督ヲ止メテ保護ニスルト

カ、或ハモウ少シ此少年教護委員ノ權限ヲ明ニスルトカ云フヤウナコトハ、如何ナモノデゴザイマセウカ、又案デモ出シテ載ケバソレニ依テ審議ヲ進メテ行ク便宜ニモナルノデゴザイマセウカ、少シハ無理ナ質問カモ知レマセウカ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(丹波七郎君) 只今大河内子爵

ノ御尋デアリマスルガ、此教護委員ヲドウスルカト云フ點ニ付キマシテ、是ハ實ハ只今御話ノ通りニ衆議院提出デアリマスルノデ勅令等ノ用意ガ今出來テ居ナイノデアリマスガ、第六條ニ「道府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ少年救護ノ爲少年教護委員ヲ置クベシ」ト云フコトニ相成テ居リマシテ、ソレ等ノ點ハ勅令ニ於テ明瞭ニ致シタイト思ッテ居リマス、其明瞭ニ致スコトニ付キマシテハ固ヨリ司法當局ト御相談ヲ致スコトニ致シマス

○松村義一君 先程司法大臣ハ臨時法制審議會ニ依テ民法ノ親族編、相續編ノ現行ノ八百八十二條ノ條文ガ變ルト云フコトヲ御話ニナツタノデアリマスガ、モウ一度恐縮デゴザイマセウカ、ユックリ私ガ書取り得ルヤウニ、政府委員カラデモ宜シウゴザイマス、其案文ヲ御讀上ゲテ願ヒタイト思ヒマ

ス

○國務大臣(小山松吉君) 親權ニ關スル部

分ガ可ナリ變テ居リマスガ、唯私ガ申上ゲマシタノハ、八百八十二條ノ條文ヲ申上ゲタノデアリマスガ、八百八十二條ガ斯ウ云フ風ニ變ルノデアリマス、「親權ヲ行フ父又ハ母ハ必要ナル範圍ニ於テ自ら其子ヲ懲戒シ又ハ家事審判所ノ許可ヲ得テ之ヲ感化院矯正院其他之ニ準スヘキ施設ニ入ルコトヲ得」其外ハ直接關係ノナイコトデアリマス、是ハ感化法ニ關係ノアル條文デアリマスカラ申上ゲマス

○松村義一君 私ハ昨日モ申上ゲタノデアリマスガ、此委員會ニ於ケル此少年教護法案ノ審議ニ付テ、今日ノ制度ニ、於キマシテ、非常ナ不愉快ヲ感ズルノデス、昨日モ申上ゲマシタヤウニ司法大臣ハ色々此法案ニ對スル反對ノ理由ヲ御述ニナリマシタ、ソレハ昨日モ私ガ申上ゲマシタヤウニ、衆議院デハ御話ニナツテ居ラヌ、司法大臣ハ此條文ガ變タカラ自分ハ申スノダト云フ御話デアリマスケレドモ、成程文字モ變テ居ル所モゴザイマス、併ナガラ司法大臣ガ反對ヲナサイマシタ其根本ノモノハ、矢張り此點ハ餘リ變テ居ラヌ方ノモノガ多イ、ソレニモ拘ハラズ司法大臣ハ衆議院ニ於テハ

反對ヲ唱ヘズ、貴族院ノ本會ニ於テ反對ヲ

唱ヘラレテ居リマス、ソレニ對シテハ昨日申上ゲマシタヤウニ、其大臣ノ御態度ハ誠ニ遺憾千萬デアルト云フコトヲ昨日モ申上ゲマシタガ、只今モ左様ニ、考ヘテ居リマス、所ガ今日又大河内子爵ノ質問ニ對スル御答ニ依リマス此法案ハ感化院ノ精神ニ反スルト云フ御話ガアリ、臨時法制審議會ニ於テ立案サレテ居ル民法ノ親族編、相續編、家事審判ナドノ規定ニ依テ更ニ能ク考究ヲシナケレバナラス、感化法ノ改正ハ必要デアルケレドモ、此改正ニ際シテハ是等ノコトヲ能ク斟酌シテ考ヘナケレバナラス、斯ウ云フ御話ガ又出タ、是亦初メテノコトデアリマス、サウスルト此法案ハ根本的ニ不完全ナモノデアルカラ更ニ立派ナ案ヲ得タイト云フ御話デゴザイマス、其事ハ衆議院デハ御話ニナツテ居ラヌ、昨日モ此本會デ御話ニナツタ、今日忽然トシテサウ云フヤウナ御意見ガ出タノデアリマス、是ハ私共ガ議會ニ於テ職務ヲ盡シマス上カラ申シテ誠ニ、遺憾千萬ナコトデアアルノデアリマス、若モ親族相續ノ改正、或ハ假審判法ノ規定ト云フヤウナモノ、其他ニ依リマシテ、根本的ニ研究シナケレバイカヌノダト云フコトヲ、初メカラ衆議院デ大臣ガ強調サレ

テ、能ク衆議院ノ方デモ之ヲ了得イタシマシタナラバ、衆議院デ之ヲ否決ニナツテ居タカモ知レナイ、サウスレバ私共ハ斯ウ云フ案ヲ審議スル必要ガナクナツテ來ル、所ガ衆議院デハサウ云フコトヲ御話ニナツテ居ラスデ、コチラニ於テ初メテ御話ニナルモノデスカラ、又私共ハ審議ヲシナケレバナラス、斯ウ云フコトニ相成タノデアリマス、是ハ憲政ヲ立派ニ進メテ行ク上カラ申シマシテ誠ニ遺憾千萬デアアルノデアリマス、忌憚ナク申上ゲマスナラバ、司法大臣ノ態度ハ憲政ニ反スルモノト申サナケレバナラスト私ハ敢テ言明シマス、サウ申サナケレバナラス、衆議院デモ同ジコトヲ、貴族院デモ同ジコトヲ言フト云フコトニ於テ、初メテ本當ノ會議ニ於テノ審議ガ出來ルモノト思ヒマス、ソレヲ一方ニ於テハ言ハズ、今ニナツテカラ貴族院ニ於テ言フト云フコトハ、憲政ノ進行上非常ニ都合ナコトデアアル、左様ニ私ハ敢テ申上ゲマス、申上ゲテ憚ラスト思ヒマス、ソレカラ臨時法制審議會ニ於ケル親族相續ノ改正ニ依テ審議シナケレバナラスト云フ例トシテ、現行法ノ民法八百八十二條ニ斯卡ル條文ガアル、斯ウ云フ御話デアリマシタ、所ガ大シタ變リガナイノデス、ソレニ依テ特ニ此感化法

コトヲ、初メカラ衆議院デ大臣ガ強調サレ

テ、能ク衆議院ノ方デモ之ヲ了得イタシマシタナラバ、衆議院デ之ヲ否決ニナツテ居タカモ知レナイ、サウスレバ私共ハ斯ウ云フ案ヲ審議スル必要ガナクナツテ來ル、所ガ衆議院デハサウ云フコトヲ御話ニナツテ居ラスデ、コチラニ於テ初メテ御話ニナルモノデスカラ、又私共ハ審議ヲシナケレバナラス、斯ウ云フコトニ相成タノデアリマス、是ハ憲政ヲ立派ニ進メテ行ク上カラ申シマシテ誠ニ遺憾千萬デアアルノデアリマス、忌憚ナク申上ゲマスナラバ、司法大臣ノ態度ハ憲政ニ反スルモノト申サナケレバナラスト私ハ敢テ言明シマス、サウ申サナケレバナラス、衆議院デモ同ジコトヲ、貴族院デモ同ジコトヲ言フト云フコトニ於テ、初メテ本當ノ會議ニ於テノ審議ガ出來ルモノト思ヒマス、ソレヲ一方ニ於テハ言ハズ、今ニナツテカラ貴族院ニ於テ言フト云フコトハ、憲政ノ進行上非常ニ都合ナコトデアアル、左様ニ私ハ敢テ申上ゲマス、申上ゲテ憚ラスト思ヒマス、ソレカラ臨時法制審議會ニ於ケル親族相續ノ改正ニ依テ審議シナケレバナラスト云フ例トシテ、現行法ノ民法八百八十二條ニ斯卡ル條文ガアル、斯ウ云フ御話デアリマシタ、所ガ大シタ變リガナイノデス、ソレニ依テ特ニ此感化法

ヲ改正スルニ當テ、特ニ條文ニ付テ考ヘナケレバナラヌ程ノコトハナイ、ドウカト申シマス云フト、現行ノ民法第八百八十二條ニ依リマスルト云フト「親權ヲ行フ父又ハ母ハ必要ナル範圍内ニ於テ自ラ其子ヲ懲戒シ又ハ裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ懲戒場ニ入ルルコトヲ得」斯ウ云フ規定ガアル、ソレカラ今度改正ヲサレムトスルモノデモ、唯假審判所ノ許可ヲ經テ云々ト云フコトダケデアリマスルノデ、其點ニ依テ是ハ感化院ニ入レルカモ知ラス、又矯正院ニ入ルカモ知ラスト云フコトハ假審判所ニ於テ決メ、今日ニ於テモ實際ハ此現行法デヤ、テ居リマス、大シク之ニ依テ何ハナイト思フ、其他ノコトニ付テ或ハ斯ウ云フコトガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ御述ニナラナイカラ分リマセヌ、サウシテ昨日色々御述ニナッタ反對デアル理由ハ、私昨日追及シテ申上ゲタヤウニ、何モ理由ニナラス、忌憚ナク言ヘバ理由ニナラス、昨日御話ニ付テ、私此處申上ゲマシタノデスケレドモ、アレカラ歸テ能ク考ヘマシタガ、矢張りドウモ理由ニナラス、ドウモ御話ニナルコトガ、我我ノ本當ニ首肯スベキ理由ニナラス、而モサウ云フコトガ度々變ルト云フコトハ、昨日私懇談會申上ゲマシタヤウニ、何等カ

之ニ對スル反對ノ隱レタル理由ガアルノデハアルマイカト云フコトヲ、ドウモ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、其隱レタル理由ナルモノハ言フコトハ出來ヌ、言ヒニクイコトデアル、少クトモ其處ニ何カアルノデア、斯ウ云フ疑ヲ懷カザルヲ得ヌ、若シ左様デアルトスルナラバ、是ハ極メテ不公明、憲政ヲ毒スルモノデアリマス、斯様ニ考ヘル、寧ロ本當ニ反對ノ理由ガアルナラバ、能ク忌憚ナク御話下ステ、初メカラ其事ヲ御話ニナテ忌憚ナク此委員會ニ於テ協議セラレタガ宜イデハナイカ、斯様ニ考ヘマス、折角此感化ノコトヲ一層成績ヲ擧ゲヤウト云フヤウナ考デ、斯ウ云フ法案ヲ衆議院ガ出サレテ、ソレガ司法省ノ、ドウモ了解シ得ザルウナ反對理由ニ依テ、遂ニ審議ガ甚ダ抄ラヌト云フコトハ、誠ニ私ハ憲政上遺憾千萬デアルト云フコトヲ特ニ此處申上ゲテ置キマス

○國務大臣(小山松吉君) 御答スル必要ナイ御意見ダと思ヒマスルガ、チョット申上ゲテ置キマスガ、初メ衆議院ニ於テ私ガ申上ゲ、説明ト申シマスカ、答辯ヲシマシタ時ニ、言ハナイコトガアル、ソレガ昨日現ハレ、今日モ又現ハレタ、是ハ相當ナラザルコトデアルヤウナ、御意見デアリマスルガ、マア御意見ハ御意見デ、決シテ反對論ヲ述ベルノデハゴザイマセヌガ、私ガ衆議院デ委員會ニ於テ述ベマシタノハ、其當時ノ質問ノ趣旨ニ對スル、御答ダケヲシタノデ、私ハ俄ニ呼出サレマシテ委員會ニ出テ申上ゲタノデ、ソレ以外ニ私ガ此提案ノ説明ヲスル必要ハナイノデアリマス、是ハ司法省ノ提案シタモノデハナイノデアリマスルカラ、初メカラ自分ノ考ヘテ居ル理由ヲ全部申上ゲナケレバナラヌト云フコトハナイト信ジテ居リマス、デ昨日申上ゲタノハ感化法ニ認メテアル原則カラ、感化院ノ性質ト相容レナイモノガアルト云フコト、ソレカラ此各條項ハ衆議院ニ於テ修正セラレテ、貴族院ニ廻テ委員會デ修正シテ、前ニ私ガ見タ案ト違タモノガ出テ來テ居リマスガ、是デモ尙ホ不完全デアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、デ今日ハ新シイコトヲ又申上ゲマシタ、ソレハ申上ゲル必要ガアッタノデ、之ヲ訂正、不當ナリトスル場合ヲ修正シタナラバ、同意スルカト云フ大河内子爵ノ御尋デアリマス、問ガ自然改タノデアアル、初メカラサウ云フ御問ガ出レバ私ハ皆申上ゲタノデアリマス、少シツ區切テ御答シタノハナイデアリマス、ドウゾ其點ハ御了承ヲ願テ置キマス

○松村義一君 只今ノ司法大臣ノ御辯明ニ對シテ更ニ申上ゲマス、衆議院ニ於テノ委員會ノ速記録ヲ見マス、司法大臣ガ御答ニナリマシタ、其事ハ山柊委員ノ質問ニ對スル御答ガ初メデアルト思ヒマス、讀ンデ見マス「山柊委員、私ハ本日此少年教護法ニ關シテ、司法省ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス、先以テ司法大臣ヨリ此少年教護法案ヲ御讀ミ下サテ其要點ヲ御承知ニナッテ居ルト思ヒマスカラ、之ニ對シテ司法大臣トシテノ御所見ヲ伺ヒタイ」、斯ウ言ッテ居ル、詰リ全般的ノ之ニ對スル御意見ヲ伺テ居ルノデアリマス、此條項々々ト云フコトニ伺ッタノデハナイノデアリマス、ソレニ對シテ司法大臣ハ答ヘテ居ラレル、此委員會ニ於キマシテモ全般的ノ御意見トシテ伺ッタノデアリマス、ソレニ對シテ御答ニナッタノデアリマス、サウシテ今日ノ御意見ハ司法省ガ同意ヲスルカト云フ先程ノ大河内子爵ノ御尋ニ對スル御答デゴザイマスルガ、詰リ是ハ根本的の反對ノ理由ヲ初メカラ御話ニナッテ居ッタ、全般的の御意見ヲ伺ッタナラバ御答ヘニナルベキ事柄デアリマス、新ナル質問ニ對スル特別ナ質問ニ對スルモノデハナイ、全般ニ對スル質問デアル、之ヲ私ガ申シマシテ先ツ新タナ問題デ、衆議院ニ於テ

今迄質問ノアリマシタ所ニ何ノ無理ガゴザイマセウカ、尙ホ私附加ヘテ申上ゲマス、司法大臣ノ大體ノ御意見ハ司法大臣ト云フ御立場カラ考ヘマスト云フト、司法大臣ノ御所管ニナリマスル少年法ト云フコトニ關聯シテ、是ガ宜イトカ惡イトカ云フコトニ付テ御答ニナルノガマア當然デヤナイカ、昨日ハ少年法ノ關係ニ付テ、或ハ感化法ノ精神ニ付テ御話ガゴザイマシタ、今日ノ大河内子爵ニ對スル御答ニ依リマスト感化法ノ精神ニ違背スル、斯ウ云フヤウナ御話デアリマシタ、何時ノ間ニカ内務大臣ニ御變ハリニナッタヤウニ考ヘラレマス、何時御變リニナツカ分カリマセヌガ、内容ハサウ云フ風ニナツテ居ル、寧ロ感化法ノ精神ニ反スルト云フ問題ナラバ内務省ガ所管デアル、司法省ノ所管デナイ、尤モ國務大臣トシテ政府ヲ代表スルノ御答デアレバ別デアリマシガ、ドウモ今日ハサウデナイヤウニ見エル、從テ司法省ニ御關係ノナイコトニ付キマシテハ是ハ寧ロ内務大臣ノ御出席ニ依リテ審議スルノガ私ハ當然ダと思フ、内務省ノ政府委員ノ言ハレルコトニ依リマシテ審議スルノガ當然デアテ、司法大臣ノ御話ニナルコトハ少シドウモ御門違ヒデヤナイカと思フノデアリマスカラ、ドウカ委員長ニ於

カレマシテハサウ云フ意味ニ於キマシテ、少年法ニ關係ノアルコトナラバ別デアリマシガ、サウデナイ點ニ付キマシテハ内務省ノ意見ニ依リテ此審議ヲ進メルト云フコトニ一ツ特ニ御計ヒテ御願ヒシタイト思ヒマス

○岡田文次君 今ノ松村君ノ御質問ハ續イテ何カ……

○委員長(侯爵大久保利武君) 松村君宜シウゴザイマスカ

○松村義一君 宜シウゴザイマスカ

○委員長(侯爵大久保利武君) 岡田君宜シウゴザイマスカ

○岡田文次君 内務省ノ方ニ御伺ヒシマシガ、只今頂戴シマシタ此改正感化法案要綱ト云フ昭和二年六月十八日第三回社會事業調査會ニ於テ決議セラレタ此要綱ト云フモノハ、此社會事業調査會ト云フノハ内務省デ御設ケニナツタ調査會デアリマスカ

○政府委員(丹羽七郎君) 内務省ニアリマス

○岡田文次君 續イテ御伺ヒシマシガ、之ニ依リマスト昭和二年六月ニ此調査要綱ガ出來テ居ルノデアリマス、尙ホ又大體感化法ノ改正ト云フコトハ必要ヲ御認メニナリ、又相當急イデオイデノヤウニ思ハレルノデ

アリマシガ、此昭和二年ニ是ダケノモノガ出來テ居リマスニ拘ラズ、其後内務省關係ノ政府案トシテ御提出ニナツタト云フコトハナカッタカト思フノデアリマシガ、若シ是迄サウ云フ御提案ニナツテナカッタトスレバ何カ御提案ニナリ難イ事情ガアッテ御提案ニナラナカッタノデアリマセウカ、若シ御差支ナケレバ、其邊ノ事情ヲ伺ヒタイ

○政府委員(丹羽七郎君) 内務省ト致シマシテハ只今御話ノ社會事業調査會ノ決議ニ基キマシテ各種ノ事項ニ付テ折角調査ヲ致シテ居リマス、唯併ナガラマダ成案ヲ得マセヌト、一ツハ財政關係モアリマシテ是ガ提案ヲスル迄ニ至ッテ居リマセヌ次第デアリマス

○岡田文次君 今御話デ一應了解シマシタガ、唯先程松村委員カラ御話ガアッタヤウニ、相當急イデオイデノヤウニ思ハレテ居ルニ拘ラズ、昭和二年ト言ヘバ、今日迄可ナリノ歲月ヲ經テ居リマスガ、唯是ダケノ要綱ガ出來テ居ルノニ、唯成案ガ出來ナカッタト云フノデハ、餘リニ單純ナ御答ノヤウニ思ヒマスガ、何カモウ少シ外ニ事情ハオアリニナラナカッタノデセウカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、司法省トノ御相談ガ調ハナイ、若クハ其他何カサウ云フヤウナ、十

分調査モシ、又立案モ急イデ居ルニ拘ラズ出來ナカッタト云フ、何カモウ少シ具體的ノ事情ヲ御伺ヒ出來マセヌデセウカ

○政府委員(丹羽七郎君) 只今ノ御話デアリマシガ、固ヨリ感化法ノ改正ヲ必要ト致シマシテ、折角調査ヲ致シテ立案ニ從事シテ居、タ次第デアリマシガ、只今申上ゲマシタヤウニ、成案ヲ得マシタルニハ、關係省トノ關係モゴザイマシ、又財政關係ト云フヤウナコトカラシテ、確定シタル案ヲ得ル迄ニ至リマセヌデシタ次第デアリマス

○岡田文次君 尙ホ伺ヒマシガ、然ラバ今後ニ於テ、將來ニ於テハドウ云フ御見込デアリマシカ、内務省側トシテハ、政府トシテ、マア來議會ト迄ハ行カヌデモ、極メテ近キ將來ニ於テ御提案ニナルヤウナ御考ヘヲ御持チニナツテ居ルノデセウカ、ドウデセウカ

○政府委員(丹羽七郎君) 少年教護法案ガ成立シマセヌ場合ニ於キマシテハ、尙ホ政府ト致シマシテハ、イヤ内務省ト致シマシテハ、今日ノ事情カラ致シマシテ、精々立案ヲ急イデ成案ヲ得タイ考ヲ持ッテ居リマス

○岡田文次君 政府ト致シマシテハ今回、只今議題ニナツテ居ル教護法案、少年教護法

案ノ成立ヲ熱心ニ御希望ニナッテ居ルノデ
アツマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(丹羽七郎君) 政府トシテ本案

ノ成立スルヲ希望スルカドウカト云フ御尋
デアリマシテ、政府トシテハチヨト私カ
ラハ御答ヘ申上ゲ難イト思ヒマスガ、内務
省ノ關係カラ申シマスルト、大體社會事業
調査會デ決メラレタ事柄ガ含ンデ居リマス
ルモノデ、大體適當ナ案ダと思ヒテ居リマス
ノデ、是ガ出來ルト云フナラバ、是デ尙ホ
缺陷ガアルニシテモ結構デハナイカ、斯
ウ云フヤウニ内務省トシテハ考ヘテ居リマ
スケレドモ、政府全體トシテノ御答ハ茲ニ
留保シテ置キタイト思ヒマス

○岡田文次君 先程司法大臣ノ御話ニ依リ

マスト、大體本案ハマダ練レテ居ナイト云
フ御話ノヤウニ承ハリマシタガ、色々條文
ノ關係其他若クハ先程御話ノ民法トノ關係
等ニ於テ尙ホ考究スベキ餘地ガアルト云フ
御話ノヤウニ承ハリマシタガ、此點ニ於テ
ハ内務省トシテハドウ云フ御意見デアリマ
スカ、本案ハ此儘通過シテ別ニ差支ナイ尙
ホ考究スベキ餘地ガアル、練レテ居ナイ點
ガアルト云フヤウナ思召ガアルデセウカ、
ソレトモマア本案ノ儘通過ニナッテ差支ナ
イト御思ヒニナルデゴザイマセウカ、ソレ

ハ如何デスカ

○政府委員(丹羽七郎君) 内務省ノ關シマ

スル限リニ於キマシテハ、此案ガ成立シテ
大體差支ナイノデアリマス、唯完璧ヲ期ス
ルナラバマダ色々アルカトモ思ヒマス、
政府ニ於テモ別ニ調査ヲ致シテ居ルヤウ
ナ譯デアリマス、併シ政府案デモ完璧ト
云フコトハ中ミムツカシイノデアリマシ
テ、要スルニ所謂程度ノ問題デアルト思
ヒマス、又今ノ親族、相續等ノ法制等ノ關
係ニ於キマシテハ、大體此少年救護法案ヲ
見マスルト、現行法ノ通りニ大體ナッテ居
ルノデアリマシテ、先ヅ必要ガアレバ現行
法デモ改正シナケレバナラヌ譯デアリマス
カラ、少年救護法案ニモ必要ガアレバ又將
來改正スルト云フコトモ起ルカトモ思フノデ
アリマスガ、今ノ親族、相續等ノ關係ニ
於キマシテハ、大體現行法ノ通りノ精神ヲ
取ッテ居リマシテ、唯院外收容ヲスルト云フ
ヤウナコトデ、多少處分ノ範圍ヲ擴メテ居
リマススケレドモ、民法トノ關係ニ於キマ
シテハ、要スルニ現在ノ感化法ノ程度ノコ
トヲ踏襲シテ居ルモノト考ヘテ居リマス、
其點ニ於テハ現在通りデアアルカシテ、別
段今直ニ之ヲドウスルト云フ特別ナル成案
ガナケレバ此儘デ差支ナイ、斯様ニ考ヘテ

居ル次第デアリマス

○岡田文二君 御話デ分リマシタガ、極ク

些細ナコトデアリマススケレドモ、先程司法
大臣ノ御言葉ノ中ニアリマシタカラチヨ
ト其一例トシテ申シテ、尙ホ御意見ヲ伺ヒ
タイト思ヒマス、例ヘバ此第八條ノ第二項
ノ末項ノ方ニ「少年救護委員ノ監督ニ付ス
ルコトヲ得」、之ヲ保護ト云フ文字ニシタラ
幾ラカ宜クナリハセヌカト云フヤウナ御話
ガアリマシタガ、今ノ保護ト云フ文字トカ、
監督ト云フヤウナ文字ニハ無論意味ガ違フ
コトハ申ス迄モアリマセヌガ、現在ノ感化
法等ニ於テ、ソレ等ノ用語ノ區別ガハ、キ
リシテ居ルノデアリマセウカ、例ヘバ第十
條ニ持ッテ行ッテ、是ハ少シマア意味ガ違ヒ
マセウケレドモ、「地方長官必要アリト認ム
ルトキハ少年救護院ヲ退院シタル者ニ對シ
保護監督ヲ行フベシ」、此場合ニ於テハ保護
ト監督ト兩方ノ文字ガ使ッテアルト云フヤ
ウナコトデ、マア些細ナコトデハアリマセ
ウケレドモ、先程司法大臣ノ御話ノヤウニ
文字ガヤカマシク言ッテ來ルト、サウ又簡單
ニモ言ヘナイカト思フノデアリマススケレド
モ、是等ノ文字ノ用語等ニ於テハ現在ノ感
化法等ニ於テ如何ナッテ居リマスガ、先程大體
現在ノ感化法ト同ジヤウニ出來テ居ルト云

フヤウナ御話ガゴザイマシタカラ申上ゲル
ノデアリマスガ、何カ現在ノ感化法ニ於テ
保護トカ、監督トカ云フヤウナ場合ノヤウ
ニ文字ヲ使ヒ分ケテアルノデアリマセウ
カ、是ハ自分ガ自ら調査スベキデアリマス
ケレドモ、序デナガラ念ノ爲メ御伺シタイ
ト思ヒマス

○政府委員(丹羽七郎君) 今御話ノ此第八

條ノ二項ノ少年救護委員ノ監督ト云フコ
ト、ソレカラ第十條ノ地方長官ガ退院者ニ
對シ保護監督ヲスルト云フ事柄ハ、是ハ新
シク入りマシタ事柄デアリマス、唯保護監
督ト書イタリ、片方ハ監督ト書イデアルト
云フヤウナ御話デアリマシテ、是ハ衆議院
ノ提案デアリマスカラ、保護監督ト書イテ
アルノトドレダケノ差異ガアルカト云フコ
トニ付テハ直ニ明瞭ニ御答ヘ出來難イト思
ヒマススケレドモ、唯少年救護委員ノ權限等
ニ付キマシテハ、勅令ヲ以テ定ムルコトニ
相成リマス、從ヒマシテ現在ノ私權ヲ尊重
シテ其勅令ニ定メラルベキモノデアラウ、
斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○岡喜七郎君 内務大臣ガ御出席ガナイコ
トヲ甚ダ遺憾ニ考ヘマスルガ、御病氣デア
レバ已ムヲ得ナイコトト思ヒマス、前々回
以來承ハリマシテ居リマス、大體内務省

ノ政府委員ニ於カレテハ殆ド此衆議院提出ノ案ニ御同意ヲシタイ、サウシテ出來ルコトナラバ多少ナリトモ進歩シテ此法案ニ變ヘタイト云フコトハ、モウ明瞭ニ御説明デ了解出來ルト私ハ拜聽スルノデアリマス、私共モ斯ウ云フ法案ハ、國家ノ今日ノ現狀ニ於テ少シデモ改善ガ出來ルナラバ、是非トモ法案ニシタイト云フ、一片國ヲ憂フル爲ニ此意見ヲ申シ述ベタイト思フノデアリマス、此案ガ衆議院デ議セラレマシタノハ、貴族院ニ配付ニナリマシタノガ三月九日、思フニ二月ノ中デアラウト思フ、主トシテ感化院法ハ内務省ノ御主管ノコトデアリマス、一步タリトモ進ンダル案ガ提出ニナリマシタ場合ニ於テハ、司法省トモ御協議ヲ經ラレマシテ、成ルベク完全ナ案ニナルヤウニ進ンデ行ッテ、何故モウチット御勵精ニナラナカッタモノデアルカ、又假リニ衆議院カラ送付ニナッタ後ト雖モ、二十日バカリノ日子ノアルコトデアリマス、既ニ今岡田君カラ御話ニナッタヤウニ、改正案ナドモ八年以前ニモ御調べニナッテ居ル、其會議ニハ承ハル所ニ依レバ司法省カラモ御臨席ニナッタト云フコトデアル、色ミノ點ニ於テハ餘程御話合ハ進ンデ居ルモノデアラウト思フ、斯ウ云フ法案ガ出タ、内務省トシ

テハ少シデモ良イ法案デアルカラドウカシタイ、司法當局ニ於テモ若シ修正スルナリ何ナリスルトカシテ、ドウニカシテ成案ヲ得タイト思フナラ、左様ナ一體協議ガ内務省ト司法省ニ遂ゲラレナケレバナラナカッタ筈ト私ハ考ヘルノデアリマシガ、ソレハドウ云フ御運ビニナッタデアリマセウカ、或ハ事務御多用デサウ云フ暇ガナカッタノデアルカ知レマセヌガ、ソレハ甚ダ國事ニ私ハ冷淡ナコトデアラウト思フ、殊ニ御主管ノ省トシテハソシナ大切ナモノヲ、コンナ好イ機會ガアルノニ、マア一口デ言ヘバ抛ッテ置カレタト云フコトハ、誠ニ私ハ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、内務省トシテハ最モ是ハ御急ギデモアルシ、最モ御贊成ノコトデアラウト思フ、昨日以來司法大臣ノ御意見ヲ承ッテ見ルト、色ミナ點ニ御意見ガアレルヤウデアリマスガ、最モ相當ナ修正ヲ加ヘ、若クハ明瞭ニシタナラバ、假ニ完全ナモノデナイデアリマセウケレドモ、今日ヨリ優ッタモノナラバ一時是非トモ忍ンデモ同意ヲサレルヤウニ御協議ニナッテ、ナゼ政府ハ之ニ御同意ヲ爲サルト云フコトデ貴族院ニ廻ルヤウナ御取扱ニナラナカッタノデアリマセウカ、之ヲ一ツドウ云フ御運ビデアッタノカ、唯衆議院ノ案デアッタ

カラ可決シタラ貴族院ヘ行ッたら貴族院デ又ドウカスルダラウト云フヤウナ御考デ、コッチニ唯送付サレルノヲ見テ居ラレタノデアリマスルカ、又送付サレタ後ニハドウ云フ一體御考デ居ラレタノデアルカ、私念ノ爲ニ承ッテ置キタイ

○政府委員(丹羽七郎君) 只今岡サンカラノ御意見ハ誠ニ御尤ナ御言葉デアルト思ヒマス、本案ハ衆議院ニ提出セラレ、又其修正ヲセラレ、貴族院ニ廻付サレテ、今日ニ至ル迄政府部内ニ於キマシテ色ミト協議ヲ遂ゲテ居ッタノデアリマスルガ、マダ明瞭ニ申上ゲ得ルダケノ一致點ニ達シテ居ナカタノハ甚ダ残念ニ思ッテ居ル次第デアリマス、併シ只今ノ御話ノヤウニ、我ミト致シマシテハ協議ヲ遂ゲツツ今日ニ至ッタヤウナ次第デアリマス

○岡喜七郎君 只今政府委員カラ御辯明ガアリマシタカラ、其上御聽キシテモ同ジ御答ダラウト思ヒマス、併シ私共ガ拜聽イタシテ居リマスルト、司法省ノ政府委員ナリ司法大臣ガスクノノ點ニ斯ウ云フ疑點モアリ、斯ウ云フ譯デアルト云フ御説明ニナルコトハ、私共ガ同様此處デ御聽キシタ位ノ程度デヤナイカト拜聽ガ出來ルノデアリマス、私ハ極メテ不親切ナ御取扱方デヤナ

イカト云フコトヲ非常ニ残念ニ思ヒマス、御主管ノコトガ一步タリトモ改善サレルト云フ法案ガ出レバ、縱令衆議院カラ出ヤウト、貴族院カラ出ヤウト、是非トモソレノ通ルコトニ御努メニナルノハ當然ノ御職責デヤナイカト實ハ考ヘルノデアリマス、併シ今承ハリマスレバ絶エズ協議ハシテ居ッタガ、其處迄纏ラナシタ言ハレマスレバ、ソレ以上ハ唯何ト申シマスルカ、水掛ノ話ニナリマスルカラ、私ハ是デ止メマスルケレドモ、併シ斯ウ云フ今日世相ニ對シテノコトハ、私共ガ申スヨリハ社會局長官ノ如キハ最モ御精シイコトダラウト思フノデアリマス、實ニ憂慮ニ堪ヘヌト思フノ餘リ私共ハ出來得ルナラバ何トカ俄カ修正デモ、司法省ノ意ノアル所モ出來レバ御修正ニナリシテデモ之ヲ一ツ法案トシテ成立ツヤウニシタイ、成程經費ノ關係モアリマスルガ、是ハ御調べニ依ッテ見マスルトサウ大シタ經費デハナイ、殊ニ二十二億ノ豫算ヲナニシテ居ル國家ニ於テ、此非常時ニ於テ斯ウ云フ思想問題ノ大切ナコトニ其位ノ金ヲ支出サレルト云フコトハ左程司法省ニ於テハ御反對ノナイコトデナイカト思フ、是ナドモ一體御諮リニナッテ見タノカドウデアラウカト、甚ダ失禮ナガラ御疑ヲ申上ゲル

ヤウナ心持ガスルノデアリマス

○大澤徳太郎君 私ノ申上ゲント欲シテ居リマシタコトノ大半ハ既ニ今岡サンカラ御話下サイマシタノデ、殆ド申上ゲル必要モナイヤウナ譯デゴザイマスガ、唯一言御伺ヒ旁、申上ゲタイト思ヒマスノハ、本案ニ付キマシテ過日來段々政府ノ御意見ヲ伺ッテ居ルノデゴザイマスルガ、内務省ト司法省ト大變ソコニ御意見ノ相違ガアルヤウデ、サウ云フ事デゴザイマスト我々委員ト致シマシテモ、一體此法案ノ取扱ガ誠ニムヅカシイ譯デアリマシテ、内務省ノ御意見ニ從ハントスルト司法省ノ御意見ニ背カナケレバナラズ、又司法省ノ御意見ニ贊成スレバ内務省ノ希望ニ副ハスト云フヤウナ譯デ、誠ニムヅカシイ立場ニ我々ハ居ルヤウナ次第デゴザイマス、大體此現在ノ感化法ト云フモノガ不十分デアッテ、是ハドウニカシタ方が宜イト云フコトニ付テハ兩省共御意見ハ合致シテ居ルヤウデアリマス、又實際ニ此感化事業ニ從事シテ居リマスル方面ノ方々ノ意見モ、現在ノ感化法デハ困ルカラ、何トカ之ヲ改良シテ貰ヒタイト云フ聲ハ非常ニ熱心ナルモノガアルヤウニ存ジマス、此法案ヲ見マスルト確ニ一步現在ノ感化法ヨリハ進ンダモノト申シテ差

支ナイト思フ、色々昨日來司法大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス、成程不備ノ點ハ少カラズ有ルカモ存ジマスケレドモ、少クトモ相當進歩シタモノト思フノデアリマス、假令此際ト雖モ内務省ト司法省トノ間ニ能ク一ツ御話合ヲ御遂ゲ下サイマシテ、若シ何處カラ、此際修正ノ御意見デモ御出シ願ヒマシテ、何トカ是ガ圓滿ニ妥協ノ裡ニ此案ガ通過シマスルヤウニナリマシタナラバ、我々委員モ大ニヤリ宜イ譯デアリマシテ、私共少クトモ此案ハ今日ノ時勢ニ、何トカ能ク斯ウ云フ案ノ成立ヲ希望イタスノデアリマスカラ、モウ一度其點ニ付キマシテ内務省ナリ司法省ナリノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵大久保利武君) 皆サンニ御諮リヲ致シマスガ、ドウデセウネ速記ヲ止メテ、腹藏ナクモウ一遍能ク政府間ノ御相談ヲ願ッテ、又各委員カラモ色々質問ヲ願ヒタイ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデハ今大澤委員カラ御質問ガ出マシタガ、議事ノ進行上速記ヲ中止シマシテ懇談的ニ一ツ御話ヲ進メタ方が宜カラウト云フコトニナリ

マシタカラ其御積リデドウカ……

午後二時三十一分速記中止

午後三時十九分速記開始

○委員長(侯爵大久保利武君) 速記ヲ始メテ……ソレデハ懇談會ヲ閉ヂルコトニ致シマシテ、今日ハ是デ散會シマス、次ハ明日ノ午後一時ニ開會スルコトニ致シマス

午後三時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大久保利武君

副委員長 岡田 文次君

委員

子爵大河内輝耕君

岡 喜七郎君

松村 義一君

菊池 恭三君

細田安兵衛君

大澤徳太郎君

國務大臣

司法大臣 小山 松吉君

政府委員

内務政務次官 齋藤 隆夫君

内務參與官 勝田 永吉君

内務省警保局長 松本 學君

社會局長官 丹羽 七郎君

司法省刑事局長 木村 尙達君

昭和八年三月二十四日印刷

昭和八年三月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局